「入学願書」「調査書」の記入・作成要領

**１　願書の記入**

1. 志願者本人が自筆すること。ただし、保護者氏名は、保護者本人が自筆すること。
2. 志願者が記入することが困難な場合は保護者が代筆してもよい。
3. 清書を鉛筆書きで行い、そのコピーを提出してもよい。その際、消した文字等がコピーに写らないように注意すること。
4. 志願者の略歴については、該当する箇所を　　　　で囲むこと。
5. ※印の欄は記入しない。

**２　調査書の記入**

（１）中学校長は、志願者の調査書を令和７年１月末日現在で作成する。

（２）調査書の各欄は、特に指示するもののほかは、「指導要録」に基づいて記入し、作為があってはならない。

**[その１（表）の記入]**

・数字は、原則として算用数字を用いる。

・「緑色のセル」は、直接入力、「黄色のセル」はドロップダウンリストから該当するものを選択すること。

※入力が済むと、セルの色が消えます。セルの色が残っている場合は、入力漏れの可能性があります。

・「略歴」の欄の学級のセルの選択については、以下を参考にドロップダウンリストから選択すること。

|  |  |
| --- | --- |
| ・単一 | 特別支援学校の単一学級 |
| ・重複 | 特別支援学校の重複学級 |
| ・訪問 | 特別支援学校の訪問教育 |
| ・通常 | 中学校の通常の学級 |
| ・特学・知 | 中学校特別支援学級（知的障害） |
| ・特学・肢 | 中学校特別支援学級（肢体不自由） |
| ・特学・情 | 中学校特別支援学級）（自閉症・情緒障害） |
| ・特学・病 | 中学校特別支援学級（病弱・身体虚弱） |
| ・特学・視 | 中学校特別支援学級（弱視） |
| ・特学・聴 | 中学校特別支援学級（難聴） |
| ・特学・言 | 中学校特別支援学級（言語障害） |

・「卒業後の状況」の欄は、中学校又は中学部卒業後の状況を具体的に記入する。なお、卒業見込みの者は「なし」と入力すること。

・手帳の有無の欄については、保持している場合は等級まで必ず入力すること。

・「標準検査」の欄について

①３年以内に行った公的機関における個別の発達検査等の記録を記入すること。

（療育手帳を所持している者は、手帳の最終更新における検査記録を記入してもよい。）

②中学校在籍期間中に検査を受けていない者は、公的機関で検査を実施し、結果を記入する。

※願書提出期日までに検査が実施できない場合は、本校（佐世保特別支援学校）で検査を行うことができる。（事前連絡が必要）

　　　③標準検査の結果が二つ以上ある場合は、最新のものを二つ記入すること。（一つしかない場合は、右側の欄は「なし」と入力すること。）

・「健康診断の記録」の欄のその他の疾病の欄には、主な障害名（知的障害等）以外で診断されているものがある場合に記入する。（自閉スペクトラム症、注意欠陥多動性障害、ダウン症候群等）記入すべき事項がない場合は、「なし」と入力すること。

　・「出欠の記録」欄の欠席の主な理由は、欠席の主な理由がある者について、その理由（病名、事故の種類等）を記入する。記入すべき事項がない場合は、「なし」と入力すること。

**[その２（裏）の記入]**

1. その２（裏）は、知的障害、肢体不自由（A）、肢体不自由（B）の中から受検者の履修状況に合うものを選び使用する。

（２）「学習・行動の記録」は、第３学年の第１学期、第２学期（２学期制の学校は、前期及び後期のうち令和６年１２月末日まで）の学習状況を基に文章表現で記入する。

**３　調査書の提出について**

1. 中学校長は、志願者の調査書を入学願書等と併せて提出すること。

（２）その１（表）、その２（裏）は上質紙に両面印刷とする。